

2018年7月13日  
2018年10月4日  
2018.年10月22日改定  
北海道大学出版会・仁坂（にさか）

## イベント概要

■日時：2018年11月11日（日） 13：30開始（13：00受付開始）、16：00終了予定

■会場：北海道大学総合博物館「ホール（知の交流）」（1階S105室）

〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西8

■定員：80名

■主催：一般社団法人 北海道大学出版会

■共催：北海道大学スラブ研究センター・境界研究ユニット（UBRJ）

■タイトル：「ボーダーツーリズム」の魅力を語る——世界の「端っこ」から

■プログラム：

13：00 受付開始

13：30 ①講演（取り組み紹介／各15分程度）

【演者】1. 伊豆芳人（ボーダーツーリズム推進協議会会長）  
2. 斉藤マサヨシ（国境写真家）

②鼎談

【登壇者】伊豆芳人  
斉藤マサヨシ  
岩下明裕（北海道大学スラブ研究センター教授）

15：00 総合博物館内の北海道大学スラブ研究センター・境界研究ユニット（UBRJ）の  
ブース紹介

16：00 イベント終了

■概要：北海道大学スラブ研究センターには、境界研究ユニット（UBRJ）が設置されています（ユニット代表：岩下明裕先生）。UBRJは北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターを中核とした、人文・社会系大学院研究科、アイヌ・先住民研究センター、総合博物館の連携からなる研究ユニットです。同ユニットは、その研究成果を広く社会に還元するために、総合博物館2階の特設ブースにて「ボーダースタディーズ（境界研究）」に関する展示を行っており、現在は「国境観光（ボーダーツーリズム）」に関する資料を展示されています。2017年12月にはこれまでの研究実績をまとめた『ボーダーツーリズム』（岩下明裕編著）を刊行しました。

そこで今回は「ボーダーツーリズム」に対する興味・関心、そしてその魅力をより多くの皆さんと共有することを目的に、トークイベントを開催いたします。また、総合博物館2階の特設ブースを関係者自らがご案内・解説いたします。

イベントを通して『「ボーダーツーリズム」とは何か？』『その魅力とは？』『どうすれば体験できるのか？』といったことをお伝えします。